

プログラム共同セミナー

2026 年 9 月 29 日 (火) 14:35～16:00

理学部 E 棟 002 号室

篠原 秀文 博士

福井県立大学 生物資源学部 准教授

植物ペプチドホルモン研究のすゝめ

ヒトを含めた動物や、自然を彩る植物は、すべて多細胞生物であり、個々の細胞同士がコミュニケーションを取りながら生命を維持しています。細胞間コミュニケーションの手段は多岐に渡りますが、近年、細胞外分泌型のペプチドホルモンが、植物の発生・形態形成や環境応答に、多様かつ重要な役割を担っていることが明らかになってきています。細胞外に放出されたペプチドホルモンは、細胞膜を通過することができないため、細胞間隙を拡散しながら移動し、標的細胞の細胞膜表面に存在する受容体に結合し、情報伝達経路を活性化することで、自身のもつ情報を伝えます。本セミナーでは、これまで我々が同定した植物のペプチドホルモンとその受容体のペアを紹介しながら、植物のペプチドホルモンが有する多様な細胞間情報伝達機構について紹介します。またペプチドホルモンがどのように保存され、また多様化してきたのかという、植物の進化的多様性に着目して進めている最近の研究も紹介、議論させていただければと思います。

※本セミナーは、統合生命科学研究科プログラム共同セミナーの対象です。

ただし、「基礎生物学特別講義（植物ペプチドホルモンを介した細胞間コミュニケーション）」の受講者はプログラム共同セミナーとしてではなく、集中講義として受講することになります。

学部学生・大学院生・教員、参加自由です。皆さまのご来場をお待ちしております。

連絡先：基礎生物学プログラム 平川 有宇樹 (yuki-hirakawa@hiroshima-u.ac.jp)